

教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育をもとめる

佐賀県私学助成をすすめる会だより

12月9日、砂防会館にて、私学助成院内集会。

中央要請行動後、新宿にて署名の集約集会、私学助成・無償化のパレード

私学助成増額・拡充、私学も無償の願いを込めて

佐賀県私学助成をすすめる会
(事務局：佐賀県私立学校教職員組合連合内)
2023年2月22日（水）
文責 事務局 米倉嘉康

国会請願署名 280万 3232筆 2/17提出



会場の中では、各都道府県の私学助成をすすめる会の保護者や教員、高校生が、私学助成の増額、高校無償化について訴え、この活動について熱い思いを強く語られました。与党野党あわせて多くの国会議員が参加され、全国父母懇談会共同代表、全国私立学校教職員組合委員長、私学に通う高校生の声に耳を傾けられました。

今回院内集会では、佐賀県私学助成をすすめる会の古賀会長より、佐賀県の取り組みと現状をもとに、私学助成の増額・無償化を訴えていただきました。



写真 左は集約集会 右は新宿駅までのパレードの様子です。



佐賀県すすめる会では、2月17日に署名2万8982筆を県議会議長に提出、要請をおこないました。12月9日の院内集会と合わせての報告を掲載します。



国会議員への要請

院内集会前、県選出議員の事務所に請願署名をもって、私学助成の増額、就学支援金の拡充（無償化）、奨学金制度の拡充の早期実現の要請をした。また、請願署名の提出の紹介議員になってもらえる返事を全議員よりいただきました。事務所にいらした古川康議員は、忙しい中時間を作って面会していただきました。今年も議員全員から国会提出の際の紹介議員になるとの了解を得ましたが、政務次官・党役員の立場から致し方なく断りの返事を頂きました。しかし、今後とも機会があれば紹介議員になるとの約束を受けております。

ここ数年、全国で唯一、県選出議員全員が紹介議員となる年が何度もありました。佐賀県選出の議員の先生方は、私学に通う生徒も公立と同様に無償化にしないといけないと理解し協力をしていきたいとの心構えを話していただきました。

中央要請

各省庁・政党に分かれて、私学助成の増額・授業料無償について要請行動を行いました。今回佐賀県は国民民主党の西岡秀子衆議院議員（長崎1区）党役員と国会内の国民民主党の部屋で会談をしました。教育の無償化は国民民主党の政策の1つであり、私学に通う生徒も公立と同様に無償化にしないといけないと理解し協力をしていきたいとの心構えを話していただきました。



県議会へ署名提出 2万8982筆



「佐賀県私学助成をすすめる会」と佐賀市内4校の私立中学校・高等学校の保護者・教職員含め7名で、2月17日に県議会議長室を訪れ、藤木卓一郎県議会議長に請願趣意書と保護者と生徒・教職員が集めた署名を手渡しました。（写真、小川副会長より、議長へ請願趣意書・署名を付けて提出、一番右側は宮原真一県議会副議長）

今年も全会派で紹介議員になってもらい、県議会へ提出されます。

【2022年度の主な活動実績】

(4月) 私学助成をすすめる各県代表者会議 (7月) 全国私学研修会の私学助成運動の分科会に参加
(8月) 県法務私学課への要請訪問、署名用紙作成 (10月) 全国父母懇談会に参加、署名用紙の配付
(12月) 国会請願・院内集会・集約集会・私学シンポジウムへの参加出席
(2月) 署名の集約、県議会・国会へ提出、県議会議長への請願
以上、ご報告が遅れ申し訳ありませんでした。興味関心があり、今後参加されたい方はご連絡ください。